

平成28年度 木材利用推進全国会議 — 宣言 —

～ 木材利用推進の新たな展開に向けて ～

木材の利用は、人々の暮らし、地球環境の保全、農山村地域の振興等に大きく貢献するものであり、林業の成長産業化を実現していくためにも、その拡大を進めていくことが重要である。

新国立競技場をはじめとする東京オリンピック・パラリンピック2020における積極的な木材利用等、国・地方自治体の施策に加え、多くの関係者の永年の努力により、国民の木材利用への関心は、年々着実に広まりつつある。

このような中で、我々は、国民の理解と、支援を得つつ、住宅、公共施設等のもとより、商工業施設、身の回り用品などでの木材利用が一層促進されるよう、次の事項を重点として中央、地方、一丸となった新たな機軸での活動を展開していくこととする。

- 1 住まい・商工業施設・公共建築物等への木材利用の一層の促進
- 2 農林水産業や道路等の公共土木工事における木材利用の一層の促進
- 3 東京オリンピック・パラリンピック関連施設への木材の積極的活用
- 4 間伐材製品や木質バイオマスエネルギー利用等の一層の促進
- 5 新たな木材利用分野の拡大のための木材新製品や生産及び利用に係る技術開発等の一層の促進
- 6 JAS、合法性証明等安全・安心の木材・木製品の供給・利用の促進
- 7 需要者・消費者、行政関係機関等との密接な連携による木材利用推進運動の一層の展開

平成28年7月27日

木材利用推進・全国会議